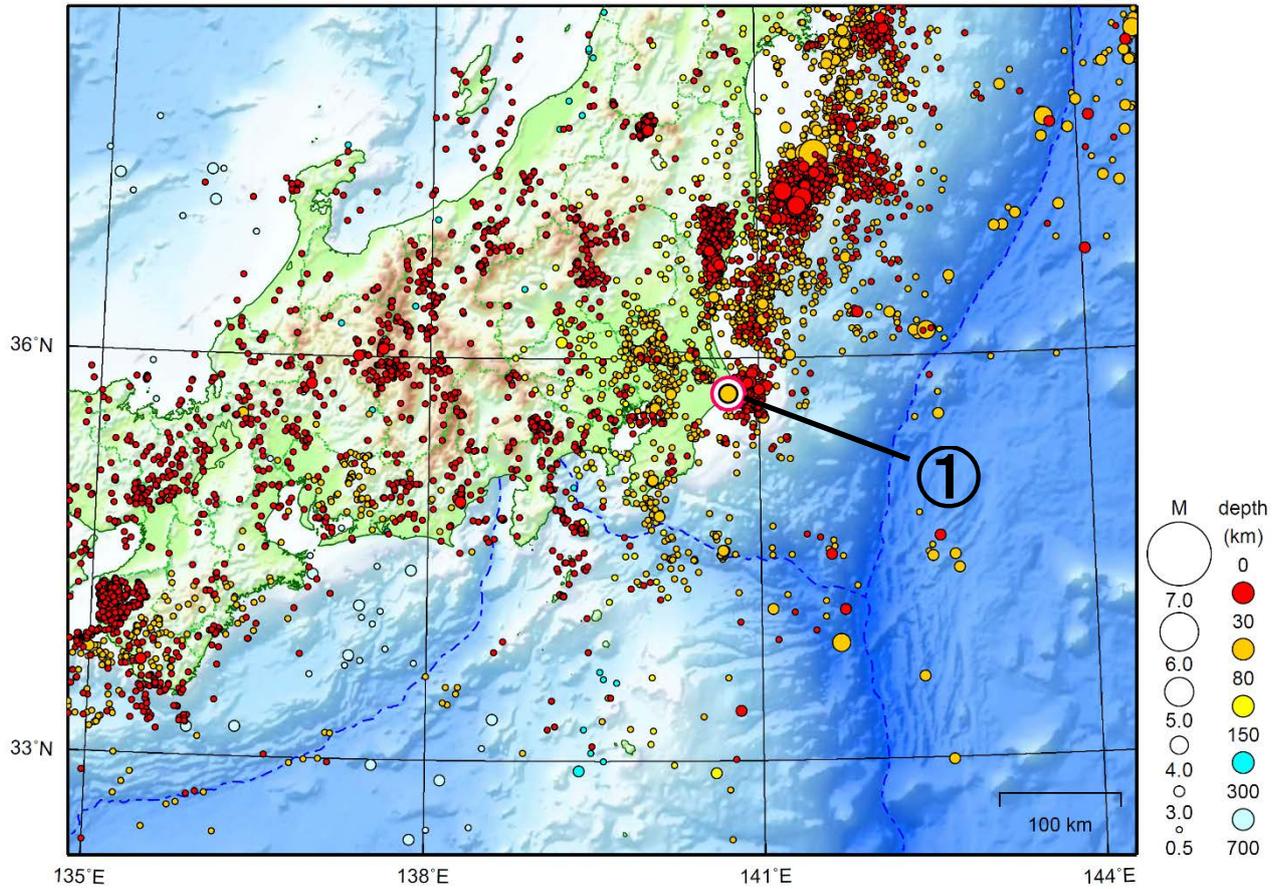


# 関東・中部地方

2017/03/01 00:00 ~ 2017/03/31 24:00

N=9101



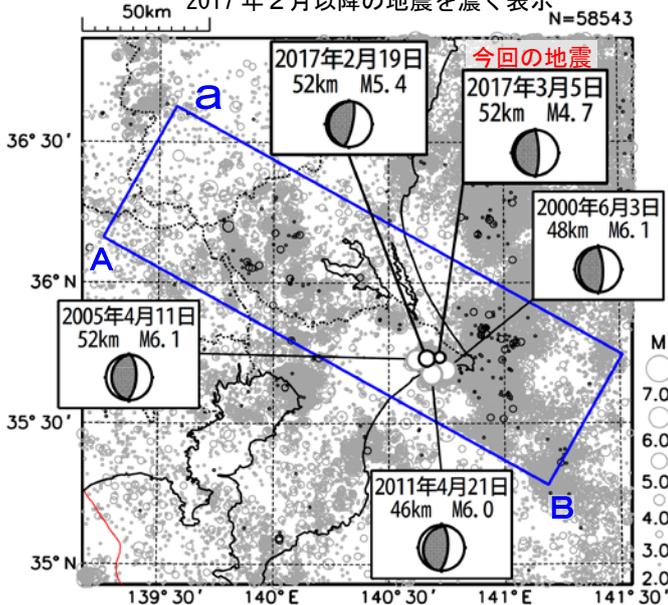
地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 3月5日に千葉県北東部でM4.7の地震（最大震度3）が発生した。

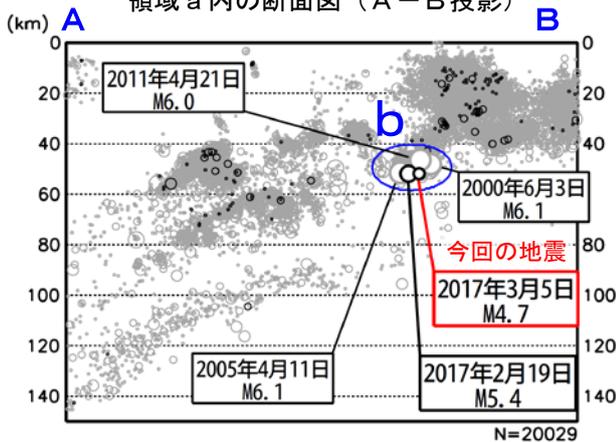
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 3月5日 千葉県北東部の地震

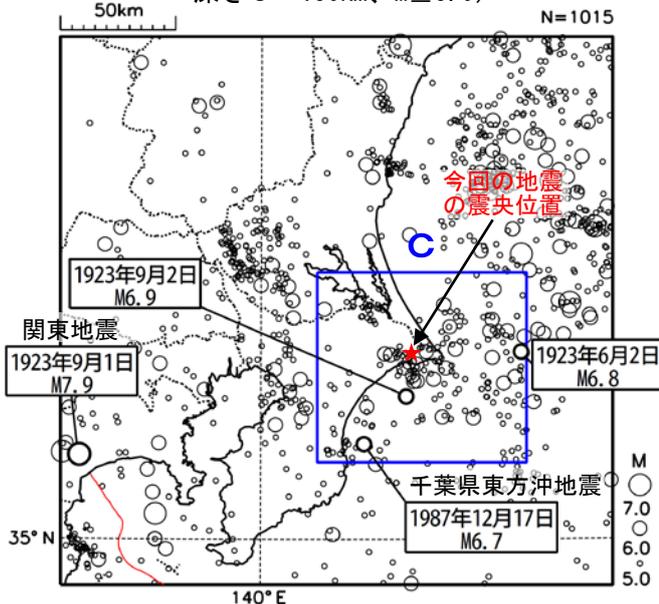
震央分布図  
(1997年10月1日～2017年3月31日、  
深さ0～150km、M $\geq$ 2.0)  
2017年2月以降の地震を濃く表示



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



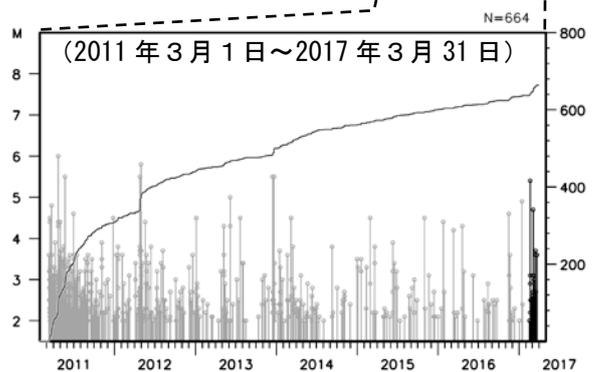
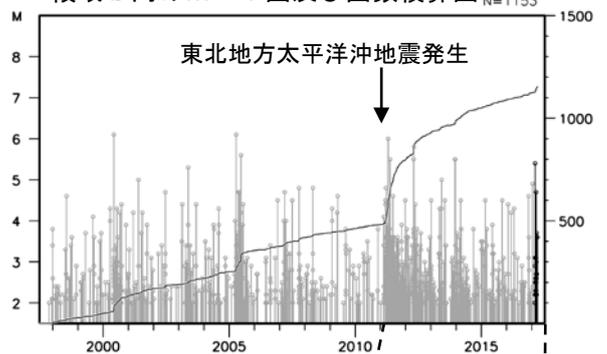
震央分布図  
(1923年1月1日～2017年3月31日、  
深さ0～150km、M $\geq$ 5.0)



2017年3月5日10時18分に千葉県北東部の深さ52kmでM4.7の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。なお、2017年2月19日にはほぼ同じ場所でM5.4の地震(最大震度4)が発生し、ややまとまった地震活動がみられた。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M6程度の地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動がより活発になっている。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。1987年12月17日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖地震(M6.7、最大震度5)では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 c 内の M-T 図

